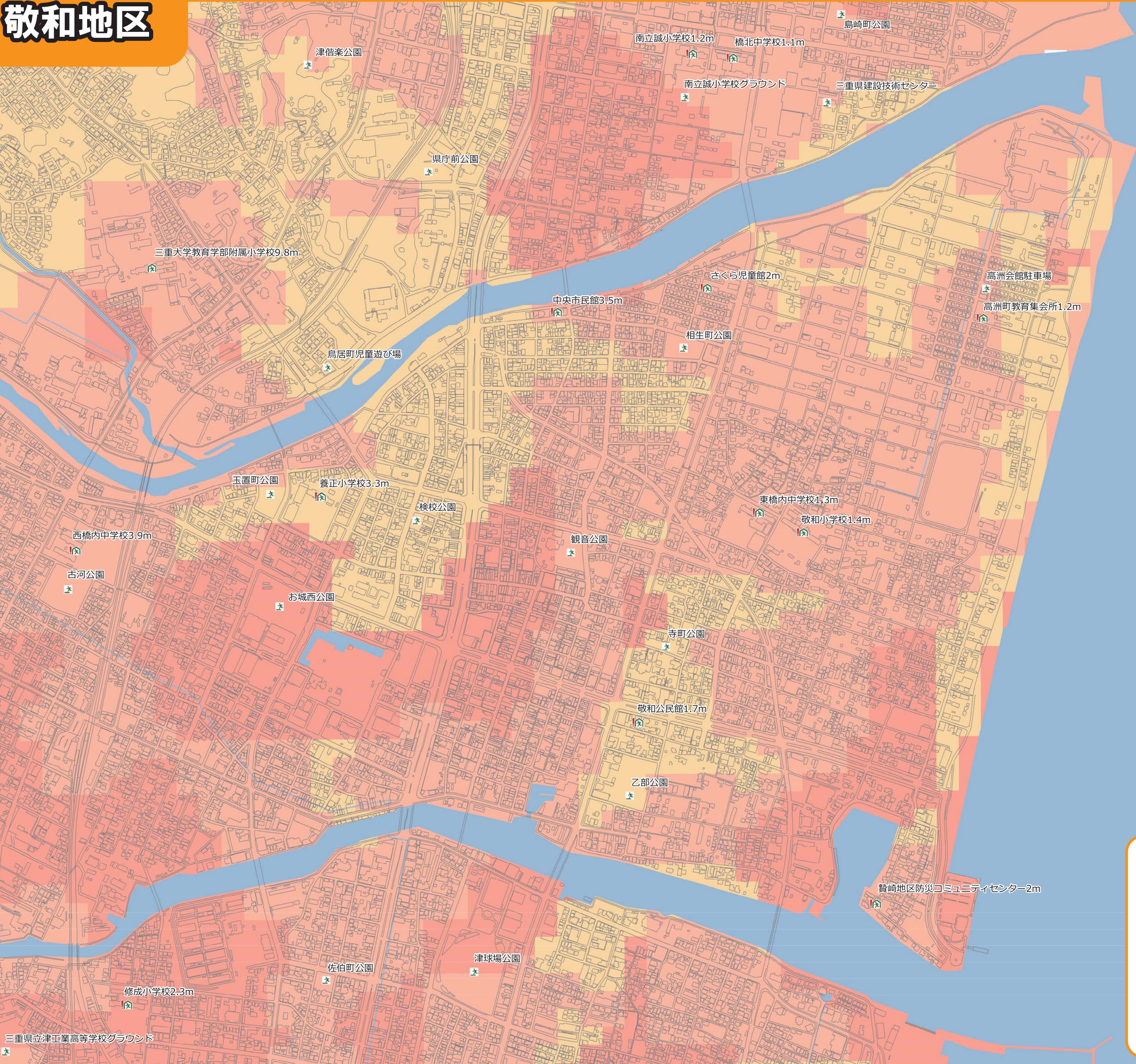


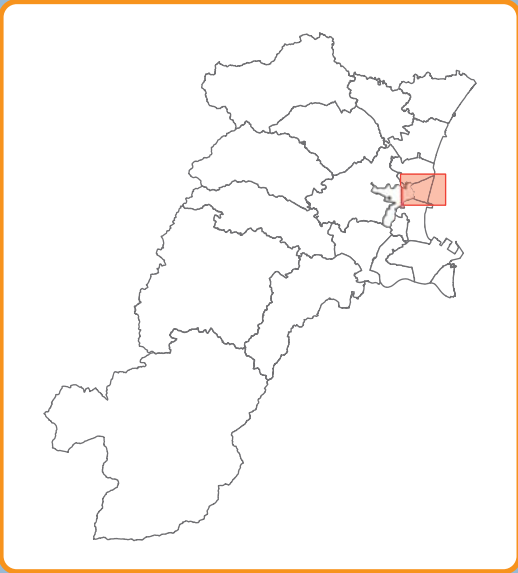
敬和地区



南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。
下表には市全域、地域別、地区別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。

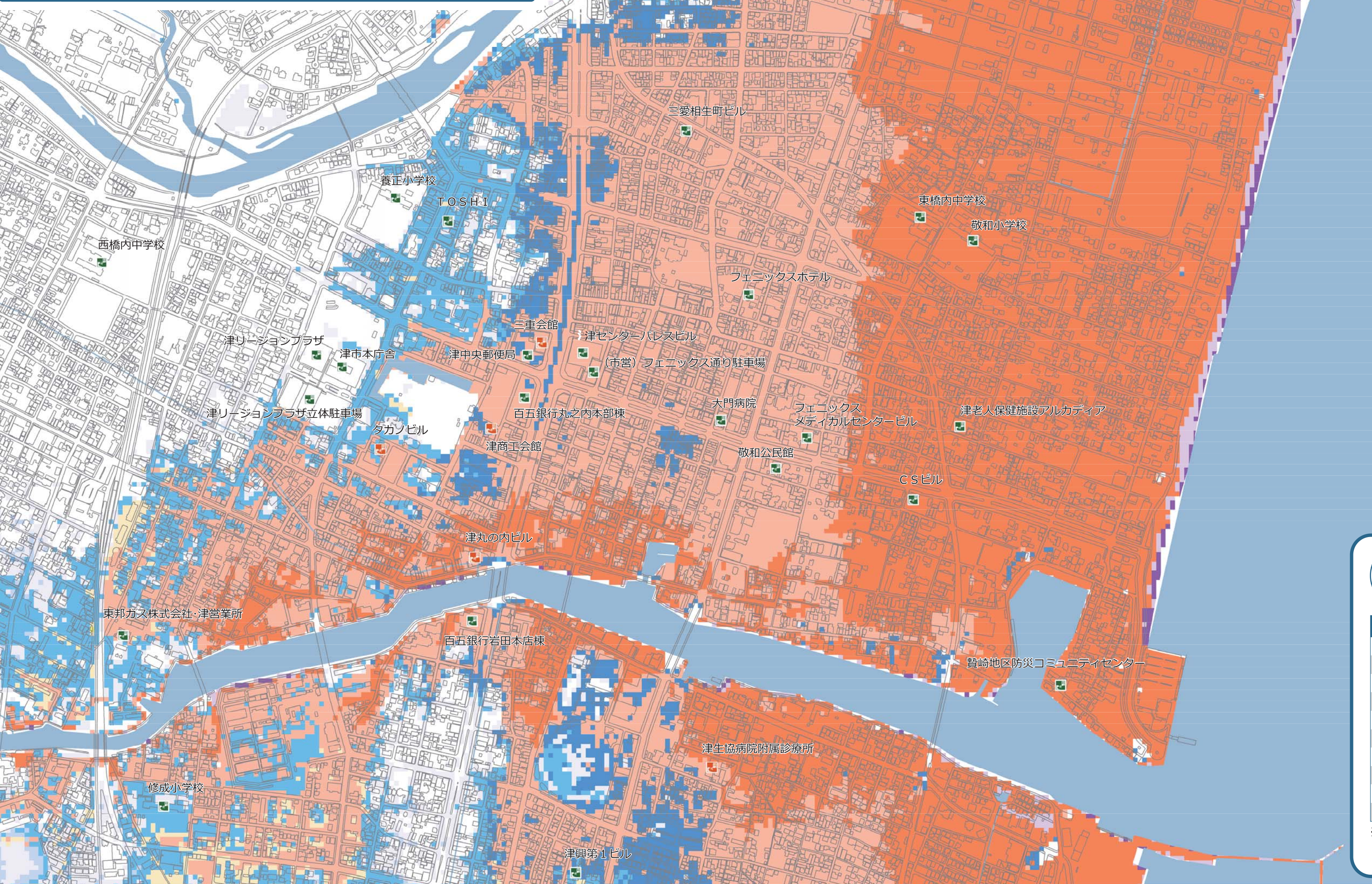
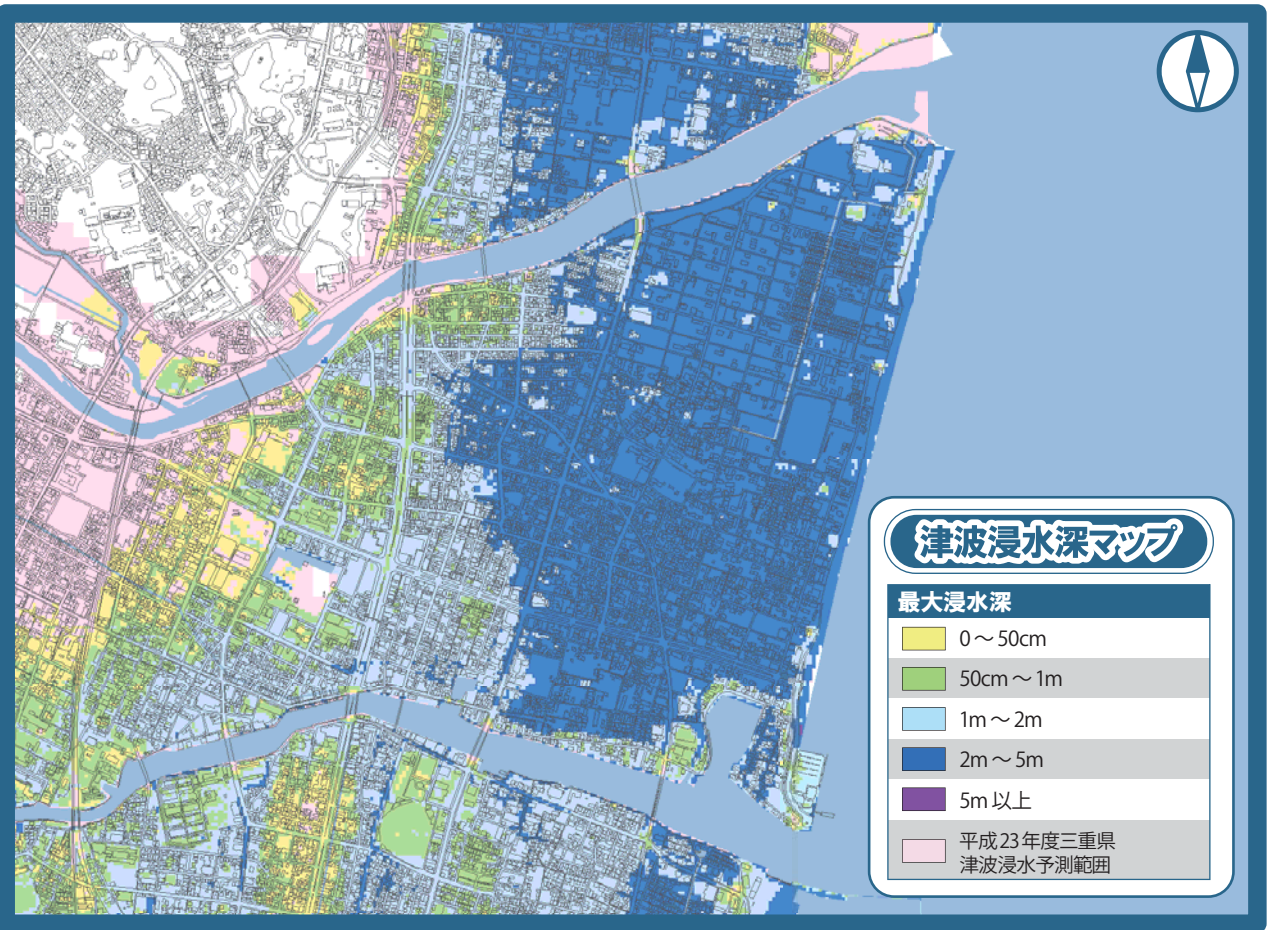
想定項目	敬和地区	津地域	津市全域
最大震度	震度7	震度7	震度7
液状化危険度	極めて高い	極めて高い	極めて高い
建物被害全壊棟数	揺れ	922棟	14,025棟
	液状化	59棟	621棟
	土砂災害	0棟	33棟
	津波	1,960棟	6,306棟
	計	2,941棟	20,986棟
火災被害	総出火件数	3件	40件
	焼失棟数	199棟	4,128棟
	死者数	66人	1,463人
人的被害	負傷者数	273人	5,876人
	重傷者数	93人	1,508人
	要救助者数	104人	1,411人
	避難者数	7,967人	78,338人
インフラ・ライフライン支障	上水道(断水人口)	8,023人	159,997人
	下水道(支障人口)	2,672人	29,118人
	電力(停電軒数)	3,468軒	57,971軒
	通信(不通回線数)	2,939回線	48,554回線
	カス(支障戸数)	1,065戸	28,020戸



揺れやすさマップ

計測震度
震度6弱(5.50-5.74)
震度6弱(5.75-5.99)
震度6強(6.00-6.24)
震度6強(6.25-6.49)
震度7(6.50-)

- 一時避難場所(地震災害)
- 指定避難所
- 津波警報発表時は原則開設しない指定避難所



津波避難のころえ

- 「避難は徒歩が原則」
家屋の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるので、歩いて避難しましょう。
- 「想定にとらわれない」
想定以上の災害が起こることもあります。想定にとらわれず、その時の状況を見極めることが大切です。
- 「率先して避難する」
勇気を出して率先して避難すれば、その姿をみて思ひの人も避難するようになり、多くの人の命を救うことができます。
- 「最善を尽くす」
自分だけでなく、ここまですれば大丈夫ではなく、その時できる最善の行動をとりましょう。
- 「地域での協力が大切」
お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて、一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。
- 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってきます。避難するときは、河川から離れる方向に避難をしましょう。
- 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても速く避難ができない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。

津波浸水時間マップ

浸水深が30cmに到達する時間
地震発生~5分
6~60分
61~75分
76~90分
91~115分
116~130分
131~145分
146~160分
161~175分
176分~

津波避難ビル

津波避難ビルは、津波から避難する際に、逃げ遅れた人など、どうしても速くまで避難できない人に少しでも安全な高い場所を確保するためあらかじめ指定した建物です。

津波避難協力ビル

津波避難協力ビルは、津波避難ビルと同様に少しでも安全な高い場所を確保するためあらかじめ指定した建物です。所有主や管理者が指定した日及び時間に限り避難できる建物です。

時間ごとの浸水の要因

5分 1時間 12時間

堤防等からの浸水 地盤沈下に伴う浸水 津波到達による浸水

※津波の最大浸水深が30cm未満の場所は着色されていません。

